

科目名：歯科予防処置論 (Prophylactic Treatment) 履修年次/時期：1 年次 前期 授業形態：講義 担当教員：山本裕子（実務経験有）、関端麻美（実務経験有）		必	2 単位 (90 時間)
学修目的	口腔疾患を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるための専門的な知識を修得する。 CP 1. 2. 3. 4. 6に関連する。 科目 No. S1C10H22		
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	◎
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	○
		(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。	○
	3. 口腔の健康支援を通して、全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2) 優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。	○
(3) 歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。		○	
◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP ○： この講義・演習・実習と関連がある DP			
到達目標	① う蝕の発生と原因について説明できる。 ② う蝕予防処置について説明できる。 ③ 歯周病の発生と原因について説明できる。 ④ 歯周病予防について説明できる。		
授業概要	専門基礎分野の知識と関連づけながら、う蝕と歯周病の概要を知り、歯科予防処置について学ぶ。 講義当日に配布するプリントの内容を中心に学修する。		
評価方法	小テスト（10%）、学期末試験（90%）により評価する。 試験に対するフィードバックは個別に行う。		
予習・復習時間	【予習】 2h 【復習】 2h		
教科書	『歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論』全国歯科衛生士教育協議会監修：医歯薬出版		
参考書	『歯科衛生学シリーズ 歯周病学』全国歯科衛生士教育協議会監修：医歯薬出版 その他随時紹介する。		
問い合わせ先	山本 裕子（月～金） 16：30～17：00 3号館 2階研究室 yamamoto.yuko@kdu.ac.jp 関端 麻美（月～金） 16：30～17：00 3号館 2階研究室 sekibata@kdu.ac.jp ＊不在の場合はメールにて連絡のこと。		

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1	<p>【歯科予防処置の概要・歯科予防処置の基礎知識】</p> <p>①歯科予防処置の法的位置づけについて説明できる</p> <p>②健康の概念を説明できる</p> <p>③口腔の基礎知識を説明できる</p>	<p>【予習】教科書 P2～27 を読んでおくこと</p> <p>【復習】ノート・プリント・教科書の確認</p> <p>【キーワード】歯科予防処置、歯科衛生士法、口腔の構成要素、疾病の予防レベル</p>	○山本 関端
2	<p>【う蝕予防処置の基礎知識】</p> <p>①う蝕の分類・原因を説明できる</p> <p>②う蝕予防処置の所要条件および選択について説明できる</p>	<p>【予習】教科書 P28～37 を読んでおくこと</p> <p>【復習】ノート・プリント・教科書の確認</p> <p>【キーワード】う蝕予防処置法、プロフェッショナルケア、プラーク、歯石</p>	○山本 関端
3	<p>【フッ化物の応用】</p> <p>①フッ化物応用法を理解する</p> <p>②フッ化物によるう蝕予防処置を説明できる</p>	<p>【予習】教科書 P233～258 を読んでおくこと</p> <p>【復習】ノート・プリント・教科書の確認</p> <p>【キーワード】フッ化物、フッ化物歯面塗布法、フッ化物洗口法、フッ化物配合歯磨剤</p>	○関端 山本
4	<p>【小窩裂溝填塞法】</p> <p>①小窩裂溝填塞法を説明できる</p>	<p>【予習】教科書 P258～264 を読んでおくこと</p> <p>【復習】ノート・プリント・教科書の確認</p> <p>【キーワード】小窩裂溝填塞法、小窩裂溝填塞剤、酸処理</p>	○山本 関端
5	<p>【PTC・PMTC】</p> <p>①PTC・PMTC を説明できる</p> <p>②歯面清掃用器材、歯面清掃器を説明できる</p>	<p>【予習】教科書 P228～233 を読んでおくこと</p> <p>【復習】ノート・プリント・教科書の確認</p> <p>【キーワード】PTC、PMTC、歯面研磨剤、歯面清掃器、サブソニックブラシシステム</p>	○関端 山本
6	<p>【う蝕におけるメンテナンス】</p> <p>①メンテナンスの目的・評価を説明できる</p>	<p>【予習】前回までの教科書・ノート・プリントを再度確認しておくこと</p> <p>【復習】ノート・プリントの確認</p> <p>【キーワード】う蝕予防処置、メイン</p>	○関端 山本

		メンテナンス	
7	<p>【歯周病予防の基礎知識①】</p> <p>①歯周組織と歯周病について理解する</p>	<p>【予習】教科書 P18～21、P28～32、P37～43 を読んでおくこと</p> <p>【復習】ノート・プリント・教科書の確認</p> <p>【キーワード】歯周組織、口腔内の付着物・沈着物、歯肉炎、歯周炎</p>	○山本 関端
8	<p>【歯周病予防の基礎知識②】</p> <p>①歯周病の予防法について理解する</p>	<p>【予習】教科書 P11～32、P37～43、P136～151 を読んでおくこと</p> <p>【復習】ノート・プリント・教科書の確認</p> <p>【キーワード】スケーリング、ルートプレーニング、歯周病予防</p>	○山本 関端
9	<p>【歯・歯周組織の検査】</p> <p>①歯・歯周組織の検査について説明できる</p> <p>②プロービングについて説明できる</p> <p>③歯の動揺度について説明できる</p> <p>④データの記録方法を理解する</p>	<p>【予習】教科書 P134～153 を読んでおくこと</p> <p>【復習】ノート・プリント・教科書の確認</p> <p>【キーワード】歯周ポケット、歯周プローブ、プロービング、歯の動揺度、ブラークリテンションファクター</p>	○山本 関端
10	<p>【SRPに必要な器具】</p> <p>①SRPの目的、方法、術式を説明できる</p> <p>②SRPに必要な器具を説明できる</p>	<p>【予習】教科書 P134～151、P185～195、P220～222 を読んでおくこと</p> <p>【復習】ノート・プリント・教科書の確認</p> <p>【キーワード】SRP、エキスプローラー、シッケルスケーラー、キュレットスケーラー、ミラー</p>	○関端 山本
11	<p>【手用スケーラー】</p> <p>①手用スケーラーの名称、種類、用途、操作方法、特徴を説明できる</p>	<p>【予習】教科書 P185～195、P202～208 を読んでおくこと</p> <p>【復習】ノート・プリント・教科書の確認</p> <p>【キーワード】手用スケーラー、シッケル型スケーラー、キュレット型スケーラー、シャープニング</p>	○関端 山本
12	<p>【超音波スケーラー・エアスケーラー・歯面研磨】</p> <p>①超音波スケーラーについて説明できる</p> <p>②エアスケーラーについて説明できる</p> <p>③超音波スケーラーとエアスケーラーの相違点を説明できる</p>	<p>【予習】教科書 P209～220、P222～227 を読んでおくこと</p> <p>【復習】ノート・プリント・教科書の確認</p> <p>【キーワード】超音波スケーラー・エ</p>	○関端 山本

	④歯面研磨について説明できる ⑤歯面研磨に使用する器材を理解する	アスケーラー、バキューム操作、ラバーカップ、ポリッシングブラシ	
13	【歯周病におけるメンテナンス】 ①SRPの臨床応用について理解を深める ②歯周病予防の重要性を説明できる	【予習】歯周病学 P128～133、P191～195 を読んでおくこと 【復習】ノート・プリント・教科書の確認 【キーワード】メンテナンス、SPT、ポケットデプス、BOP、リコール	○山本 関端
14	【リスクテスト】 ①口腔内の観察項目とポイントを列挙できる ②リスクテスト（う蝕活動性試験、歯周病に関連する検査）を説明できる	【予習】教科書 P171～182 を読んでおくこと 【復習】ノート・プリント・教科書の確認 【キーワード】う蝕活動性試験、歯周病に関連する検査	○山本 関端
15	【まとめ】 ①歯科予防処置について十分理解し説明できる	【予習】前回までのノート・プリント等を再度確認しておくこと 【復習】ノート・プリント・教科書の確認 【確認】歯科予防処置、歯科衛生士法	○山本 ○関端